

メディカルメッセ 開催報告

in 第30回 日本医学会総会 2019中部

「医療関係者・大学等研究機関」と「医療機器メーカー」、「モノづくり企業」という3つのプレーヤーが一堂に会し、医療現場のニーズと技術シーズのマッチングにより、新たな医療機器の開発、改良・改善を目指す展示商談会。

第5回目の開催となる今回は、名古屋では24年ぶりの開催となった「第30回日本医学会総会2019中部」※と同時開催し、80の企業・団体の出展、医療関係者を中心とした2,500名を超える来場を得て、会場内、各ブースで積極的な情報交換や商談が行われた。



※「第30回日本医学会総会2019中部」

120年の歴史を有する日本医学会総会は、129の分科会を擁する日本医学会が日本医師会、日本医学会連合と協力して4年に一度開催する我が国最大の学会。

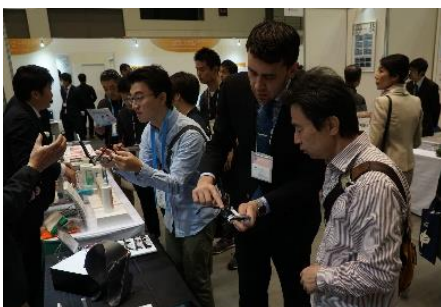


第30回 日本医学会総会
2019 中部

開催概要

名 称	医療×モノづくり技術の展示商談会 「メディカルメッセ in 第30回日本医学会総会 2019中部」
テ ー マ	医療に活かそう 中部のモノづくり
日 時	平成31年4月27日(土)、28日(日)、29日(月・祝)
場 所	名古屋国際会議場 イベントホール
主 催	愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、中部医療機器工業協会、 中部先端医療開発円環コンソーシアム、メディカル・デバイス産業振興協議会
特別協力	経済産業省中部経済産業局、岐阜県、三重県
参加企業	80社・団体
来場者数	2,518名 ※第30回日本医学会総会 参加登録者数：24,378名

会場の様子



◇ 来場者へ自社製品を説明



◇臨床工学技士がブースを訪問



◇会場風景

開会式



◇ 三矢副会頭挨拶



◇ 松尾名古屋大学総長挨拶



◇ 筒井メディカル・デバイス
産業振興協議会幹事長 開会宣言

(主な出席者)

三矢副会頭/メディカル・デバイス産業振興協議会代表理事、松尾名古屋大学総長、筒井メディカル・デバイス産業振興協議会幹事長/東海メディカルプロダクツ会長、井上中部医療機器工業協会会長/富士石膏社長、高橋中部経済産業局長、岡田愛知県経済産業局産業部長、中田名古屋市市民経済局長

会期中の併催イベント（一部抜粋）

◆セミナー

○筒井宣政基金セミナー「基金活用事例発表会」

新たな医療機器の開発支援のため、昨年6月に設立された「筒井宣政基金」を活用し、製品化に向けて開発を進められている2つの事例を発表した。

- ①「新規開発保持装置の内視鏡保持への応用」
藤田医科大学病院 消化管内科 教授 柴田知行氏
- ②「人工呼吸器アラートセンサーの開発について」
小松市民病院 臨床工学室 前田智美氏



○医工連携セミナー

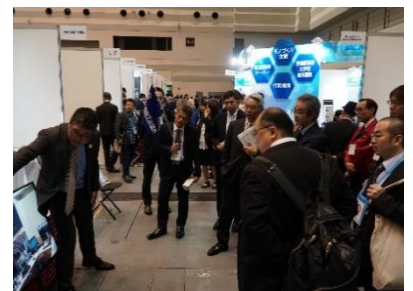
金属加工を手掛けるモノづくり企業の参入事例や、樹脂系の新医療材料の研究開発、VR・AR等先端技術の医療分野への応用など、各テーマの最前線で活躍する企業・専門家から、取り組み内容やその分野の最新動向をご紹介するセミナーを開催した。

〔講師〕(株)マイステック 代表取締役 金井しのぶ氏、(株)スピード 代表取締役 岩木勇一郎氏、みずほ情報総研(株) 経営・ITコンサルティング部 鶴岡菜佑子氏、東京大学大学院工学系研究科 マテリアル専攻 教授 石原一彦氏

◆交流プログラム

○企業ブースツアー

メディカルメッセに来場した企業関係者とドクターが、一緒にブースを見て回る「企業ブースツアー」を実施。各ブースでは、出展者が自社の製品やサービスを説明すると、ブースツアーの参加者から出展内容に関する質問が多数あり、活発な意見交換が行なれた。



◆その他イベント

○愛知県臨床工学技士会 製品・技術相談会

医療現場での自社技術の活用方法、ニーズの有無など、製品開発やマーケティングに関して、医療機器のスペシャリストである臨床工学技士がアドバイスを行った。

○大同特殊鋼株式会社 星崎工場 見学会

大同特殊鋼株式会社のご協力を得て、医療関係者、医療機器メーカーを対象に、医療機器開発において需要が高まるチタンやステンレス鋼等、金属系高機能材の生産工程を学ぶ見学会を開催した。

次回開催について

次回は、2020年5月に、名古屋にて開催される「第30回日本臨床工学会」との同時開催を予定。幹事団体である愛知県臨床工学技士会と連携し、当地域のモノづくりや医工連携の取り組みを発信したい。